

＜第99回キャンパス・サミット資料＞

平成27年12月22日

社会環境学部「ビオトープ」及び「福工大前商店会活性化プロジェクト」報告

坂井宏光

1. ビオトープ活動～ 平成27年度の冬のビオトープ活動は、**12月5日(土) 9:30～12:00**に第39回自然観察会を開催しました。テーマは「冬の里山・ビオトープの自然観察と籠編み体験」活動で一般は最年少2歳の子供を含む5名、学生40名が参加しました。冬の装いに変化した里山・ビオトープの自然環境を五感で観察しながら、クズの蔦の採取をしました。その後、クズの籠編み体験を楽しみました。参加者は個性的なカゴを製作しながら、楽しく交流しました。

ビオトープ活動10年目の今年も無事、終了しました。平成18年から今年度39回までの**延べ参加人数は、10年間で1,215名**になりました。参加者は、地域の自然環境に愛着を持ち、環境保全を推進する人材として活躍が期待されます。来年も春、夏、秋、冬の4回の自然観察会を開催する予定です。今後も地域の環境活動拠点として、継続的に環境学習・環境教育を推進していきます。



(上の写真、12月5日の自然観察と籠編み体験、完成品の鑑賞風景)

2. 福工大前商店会活性化プロジェクト～ 本プロジェクトは平成21年から活動しています。そして、平成24年10月から商店会の皆様と学生たちが連携・協力して、新たに「**緑のカーテンづくり**」や**季節の花を植えたプランターの設置活動**を行っています。今年最後の活動として12月15日(火)に2年生の学生たちが商店会を散策しながら活性化を論議しました。イベント等で若者らが集まると良いという意見などを共有しました。(下の写真12月15日撮影)イチリキ、居酒屋力、お茶の森尾園前のプランターの花が冬の寒さに負けずに、特に綺麗に咲いていました。是非、商店街でのお買い物や散策お楽しみください。

